

## 松筑支部主催による「公開講座」を開催

生産者と消費者がお互いの考える地産地消の推進のため、認識の共有を図り、よりよい方向性を導きだすため、生産者と実需者、消費者が一堂に会する第4回公開講座（勉強会）を平成20年度は8月1日に開催しました。



テーマ：「日本人の食料はどうなる」  
 —食料自給率39%を考えましょう—  
 講師

長野県農政部農業政策課 村山一善主査「長野県の食料自給率向上対策について」  
 松本大学松商短期大学部 佐藤進先生「日本人の食料はどうなる」

## 松本フードフェアの実行委員として参加



松本フードフェア参加

松本フードフェアは松本市内を中心とした飲食、宿泊産業の関係者を対象に、松本の新しい味づくりの研究や商談、情報交換などにより関係者の交流を図るとともに、地元産の食材の更なる活用を提案し地産地消の推進を図る目的で開催されています。平成20年度は11月20日に開催されました。

このフェアに当支部は実行委員として参加し、会員の農産物、農産加工品の飲食、

宿泊業界へのPR、利用促進を図るため、展示、試食、試飲等を実施しました。

## 農業高校との連携

農業の担い手の育成の一環として、管内の南安曇農業高校と連携して事業を実施しました。

- ・1月31日 南安曇農業高校 卒業論文発表会に参加しました。
- ・3月3日 南安曇農業高校と農経協3支部との情報交換会

農業者から次代の農業を担う若者たちへのメッセージを送ったり南安曇農業高校卒業論文優秀者発表等を行いました。

## 収穫感謝祭の開催

会員相互の親睦と日頃の家族への感謝をこめて、12月1日に収穫感謝祭を開催しました。「地産地消」の観点から、当日は、「信州黄金シャモ」や「信州サーモン」といった地場産にこだわった手作りの献立を楽しみました。